

オ ド バ ッ ク  
odopack

DPK-1530

## 取扱説明書

Nakabayashi

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう大切に保管してください。
- この『取扱説明書』を汚したり、紛失したりした場合は、機種名をご確認の上、販売店か当社営業担当者までご請求ください。
- この製品を譲渡する場合は、必ず製品にこの『取扱説明書』を添付して、次の保有者に渡してください。



# DPK-1530 の特長

- 投入物をフィルムで密封し、ニオイを防いで衛生的な処理が可能
- 投入物を投入口に入れるだけのカンタン操作
- 消耗品のフィルムの交換も簡単
- ポータブル電源にも対応  
(ポータブル電源およびトレイは製品に含まれておりません)
- 待機電力ゼロ機能で待機時電力を0Wにカット  
(0Wは、ノイズフィルターなどの漏れ電力を除いた値です)

## ◆主な機能

### オートスタート&ストップ

- 投入物を入れると自動的にパックを始め、パックを終えると自動的に停止する、便利なオートスタート/ストップ機能。

### 満杯検知&アラーム

- パックした投入物が満杯になると、ランプと音でお知らせする親切な機能。

### フィルム切れ検知

- フィルムがなくなると、ランプでお知らせします。

## ◆安全装置

### 天パネルスイッチ、ドアスイッチ

- 運転中に開けると、動作を自動的に止める安全スイッチ。

### ブレーカー

- 電気回路やモーターに過電流が一定時間以上流れると、自動的に電源が切れます。

### 自動運転停止機能

- オートスタートセンサーが投入物を検知している状態で約30秒間連続運転すると、自動停止して待機状態に移行します。

## I N D E X

1.安全上の注意事項	1
2.機械の設置	4
3.各部の名称と働き	4
4.操作方法	8
操作の前に	8
フィルムのセット方法	8
操作方法	10
パック済み投入物の処理方法	11
全ランプが点滅している場合	11
5.各機能の説明	13
省エネモードについて	13
自動運転停止機能について	13
6.簡単なトラブル処置(故障かな?と思ったら)	14
7.機械のお手入れ	15
オドパック本体のお手入れ	15
満杯センサーの掃除	15
8.消耗品、オプションについて	17
9.主な仕様	17
10.保証とアフターサービス	裏表紙

# 1.安全上の注意事項

オドパックを安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

この「取扱説明書」では、以下のマークで注意事項を示します。

表示内容	マーク
禁止事項を示します。 禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、けがを負う危険があります。 禁止の内容を⊘の中に絵文字で示します。	
要請事項を示します。 要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。 要請の内容を●の中に白抜き絵文字で示します。	
注意事項全般を示します。 取り扱いの誤りによって、危険や損害が発生する可能性があります。発生する危険や、損害の程度によってマークの横に「警告」、「注意」と表示します。 <b>警告：</b> 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される場合。 <b>注意：</b> 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみの発生が、想定される場合。	

!! このマークは機械を使用する際の保守上の注意を示します。

☆ このマークは機械を使用する際の補足や参考を示します。

警告	
●子供使用禁止 ・子供(特に幼児)をオドパックに近づけてはいけません。内部には歯車があり、思わぬ事故のおそれがあります。この機械を操作できるのは、大人だけです。	
●手、衣類、髪の毛の巻き込み注意 ・投入口および排出口には、絶対に指を入れてはいけません。けがをするおそれがあります。 ・服、ネクタイ、ネックレス、頭髮等を巻き込まれると、けがをするおそれがあります。	  
●可燃スプレー厳禁 ・可燃性ガス、可燃性溶剤等を含むスプレーを使用してはいけません。引火、爆発のおそれがあります。	
●のぞき込み禁止 ・まれに投入口より投入物が飛び出してくることがあります。パック中は投入口を覗き込んだり、手を近づけたりしてはいけません。投入口をのぞき込んだり、手を近づけたりしてはいけません。けがをする原因となるおそれがあります。	

# 1.安全上の注意事項

オドバックを安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

## ⚠ 警告

### ●万一、異常が発生したら

- 万一、発熱、発煙、異臭などの異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。
- 万一、異物(金属片、水、液体)が機械の内部に入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。
- この機械を落としたりカバーを破損したりした場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



### ●電源プラグ、コードの取り扱い

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししてはいけません。感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしてはいけません。また、重たいものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災や感電のおそれがあります。



### ●分解、改造、修理の禁止

- この機械を分解してはいけません。けがの原因となるおそれがあります。
- この機械を改造してはいけません。火災や感電、けがの恐れがあります。また、お客様による修理は、危険な場合がありますから、絶対にしてはいけません。
- この機械のカバー、キャビネットを外してはいけません。内部には電圧の高い部品があり、感電のおそれがあります。



### ●指定電源以外は使用禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用してはいけません。また、タコ足配線をしてはいけません。火災、感電のおそれがあります。



### ●アース線の接続

- アースに接続してください。アースに接続されずに漏電した場合は、火災や感電の恐れがあります。アースに接続できない場合は、販売店あるいは保守・サービス会社にご相談ください。



## ⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置いてはいけません。落ちたり倒れたりして、けがの原因となるおそれがあります。



- この機械の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしてはいけません。火災や感電の原因になるおそれがあります。



# 1.安全上の注意事項

オドパックを安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

## ⚠ 注意

●電源コードおよび電源プラグは、奥まで確実に差し込んでください。挿入が不完全だと火災や故障の原因になるおそれがあります。



●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張ってはいけません。コードが傷つき、火災や感電の原因になるおそれがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



●電源コードに触れると、通電したりしなかったりする場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



●運転中に異常な音や振動がする場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままでは使用できません。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



●この機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因になるおそれがあります。



●湿気やほこりの多い場所に置いてはいけません。火災や感電の原因になるおそれがあります。



●調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置いてはいけません。火災や感電の原因になるおそれがあります。



●この機械の天パネルの上へ、飲料水等をこぼしてはいけません。火災や感電の原因になるおそれがあります。



●鋭利なものを入れてはいけません。フィルムやスポンジロールが破れるおそれがあります。また、故障の原因になります。



●水分が多いものをパックする場合は、別途袋などに入れてから投入してください。



●フィルムをカットするときなど、刃に直接触れてはいけません。けがの原因になるおそれがあります。





# 3.各部の名称と働き

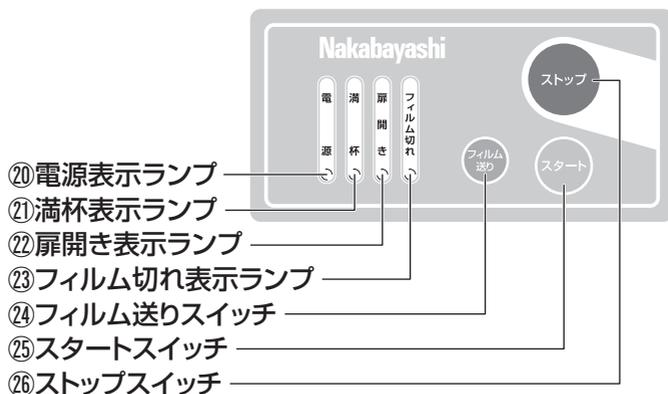


図2 操作パネル拡大図

## ①電源スイッチ

…このスイッチの上側を押すと電源が入ります。  
逆に下側を押すと電源が切れます。

図3 参照

☆過負荷が連続すると、安全のため自動的に電源が切れる場合があります。

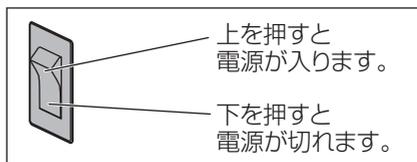


図3 電源スイッチ拡大図

## ②操作パネル

…オドパックを操作するスイッチ類があります。

図2 参照

## ③天パネル

…フィルムを交換するときに開けます。

## ④投入口

…パックする投入物をここから投入します。

## ⑤ハンドル

…移動するときに使用します。

## ⑥オートスタートセンサー

…電源表示ランプ②①が点灯しているとき、投入した投入物をこのセンサーが検知して自動的にパックを開始します。

## ⑦電源コード(電源プラグ)

…このコードの電源プラグをAC100Vの電源コンセント、またはポータブル電源に接続してください。

## ⑧アース線

…電源コンセントのアース端子または、接地工事を行ってある端子に接続してください。

# 3.各部の名称と働き

- ⑨扉  
…ダストボックス⑫を出し入れするときに開けます。
- ⑩ポケット  
…今お読みの「取扱説明書」を入れておく所です。
- ⑪キャスター  
…オドパック底面に4個取り付けられてあり、全箇所ロック付です。オドパックを移動するときには、キャスターのレバーを上げてロックを解除してください。オドパックを使用する場合は、レバーを下げてキャスターをロックしてください。 図4 参照
- ❗ ●キャスターの破損を防ぐために、凹凸や段差のある場所での移動はさけてください。
- レバーを上げると  
ロックが解除され  
ます。

レバーを下げると  
ロックがかかります。
- 図4 キャスター拡大図
- ⑫ダストボックス  
…オドパック内部に入れて、投入物を受け止めます。
- ⑬チップ袋  
…パックした投入物をまとめて処理できます。
- ⑭ギア  
…スポンジロール⑮の両端にあり、フィルムを送る役割をします。
- ⑮スポンジロール  
…フィルムを投入物に密着させてパックする役割をします。
- ⑯フィルムホルダー  
…フィルムをセットするところです。
- ⑰フィルム  
…投入物をパックするフィルムです。
- ⑱フィルム切れ検知センサー  
…投入物をパックしているときに、フィルム⑰を使い切るとこのセンサーが検知して自動的にパックを中断します。
- ⑲フィルムカッター  
…パック後にフィルムを切断するカッターです。
- ❗ ●フィルムをカットするときは、フィルムカッター⑲にフィルムを引っかけて切れ目を入れてください。 P7 図5 参照

### 3.各部の名称と働き

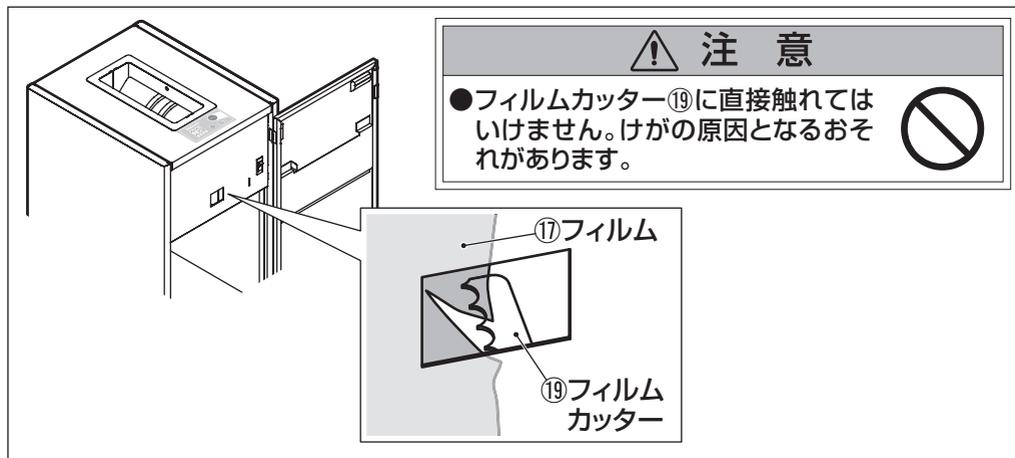


図5 フィルムカッター拡大図

#### ⑳電源表示ランプ

…投入物をパック可能な状態のとき点灯します。

#### ㉑満杯表示ランプ

…ダストボックス⑫にパックした投入物が満杯になると点灯します。投入物の処理をして、スタートスイッチ㉕を押してください。

**!!** ●パック済みの投入物を処理するときは、フィルムをカットしてからダストボックス⑫を引き出してください。

#### ㉒扉開き表示ランプ

…扉⑨、また天パネル③を開くと点灯します。閉めると消灯します。その後スタートスイッチ㉕を押すと、投入物をパック可能な状態になります。

#### ㉓フィルム切れ表示ランプ

…フィルム⑰を使い切ると点灯します。フィルム⑰を交換して、スタートスイッチ㉕を押してください。その後、フィルム送りスイッチ㉔を押してください。

#### ㉔フィルム送りスイッチ

…電源表示ランプ㉐が点灯しているとき、このスイッチを押すと、フィルムが一定量送られて停止します。

#### ㉕スタートスイッチ

…待機状態のとき、このスイッチを押すと、電源表示ランプ㉐が点灯して、投入物をパック可能な状態になります。

#### ㉖ストップスイッチ

…このスイッチを押すとオドパックが停止します。全ての機能が停止し、待機状態になります。

# 4.操作方法

## 操作の前に

1. キャスター⑪のレバーを下げて、ロックしてください。 P6 図4 参照
  2. ダストボックス⑫にチップ袋⑬をセットし、本体の奥に当たるまで押し入れてください。
- !!** ●チップ袋⑬は、ダストボックス⑫の内側に密着するようにセットしてください。密着が不十分な場合、満杯センサーの誤作動の原因になります。 図6 参照
3. 電源コード⑦の電源プラグを、電源コンセントに差し込んでください。アース線⑧をアース端子に接続してください。

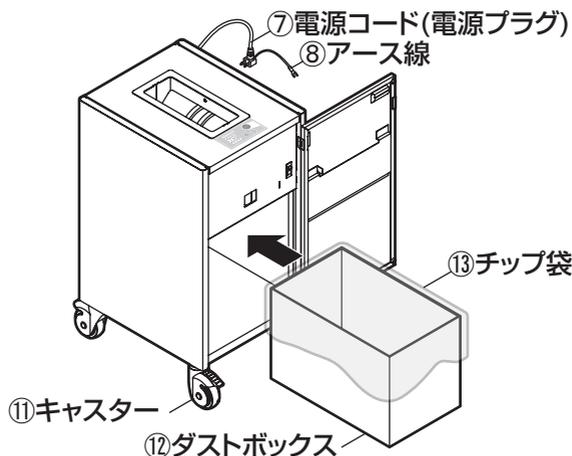


図6 ダストボックスのセット

## フィルムのセット方法

1. 扉⑨を開けて、電源スイッチ①の下側を押して電源を切ってください。 P5 図3 参照
2. 天パネル③を開けてください。

### ⚠ 注意

●天パネルを開ける際は、必ず90度以上開けて、手前に倒れてこないことを確認してください。手前に倒れてくると勢いよく落下して、けがの原因となるおそれがあります。



3. 片方のフィルムホルダー⑯にフィルム⑰をセットし、ギア⑭にかかるように広げて中央まで引き出してください。 P9 図7 参照
4. 反対側も同じようにセットし、左右のフィルム⑰を中央で重ねてスポンジロール⑮に押し込んでください。 P9 図8 参照
5. 天パネル③を閉めてください。

# 4.操作方法

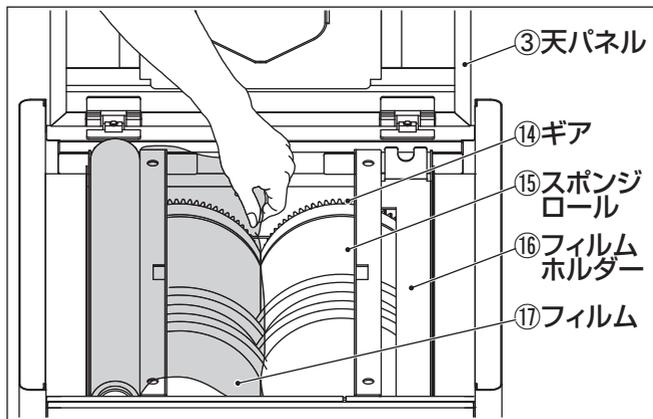


図7 フィルムのセット1

☆ギア⑭の内側付近のフィルム⑰が膨らまないように押し込んでください。膨らんでいるとセンサーが誤検知してエラーが出る場合があります。

P11『全ランプが点滅している場合』参照

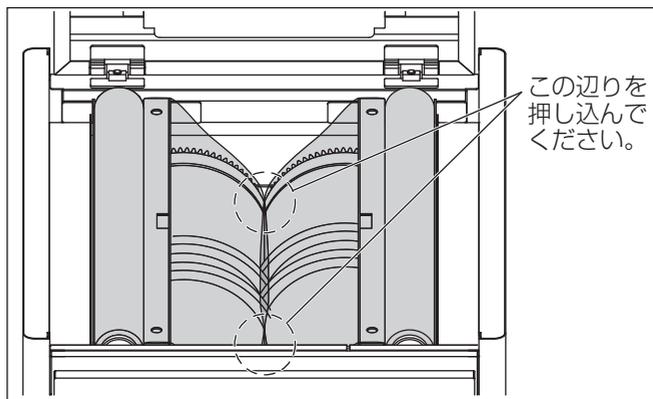


図8 フィルムのセット2

5.天パネル③を閉めてください。

## ⚠ 注意

●天パネルを閉める際は、必ず両手で持って閉めてください。閉まる前に手を離すと勢いよく落下して、けがの原因となるおそれがあります。



6.電源スイッチ①の上側を押してください。

P5 図3 参照

7.扉⑨を閉めてください。

8.スタートスイッチ⑳を押して、電源表示ランプ㉑の点灯を確認してください。

9.フィルム送りスイッチ㉒を押してください。フィルム⑰を一定量送り、バック可能な状態になります。

# 4.操作方法

☆フィルム切れ表示ランプ⑳が点灯したときも、同じ方法で新しいフィルム㉑をセットしてください。

☆パックの途中でフィルム切れ表示ランプ⑳が点灯した場合は、新しいフィルム㉑を残ったフィルム㉑の上に重ねてください。図9 参照

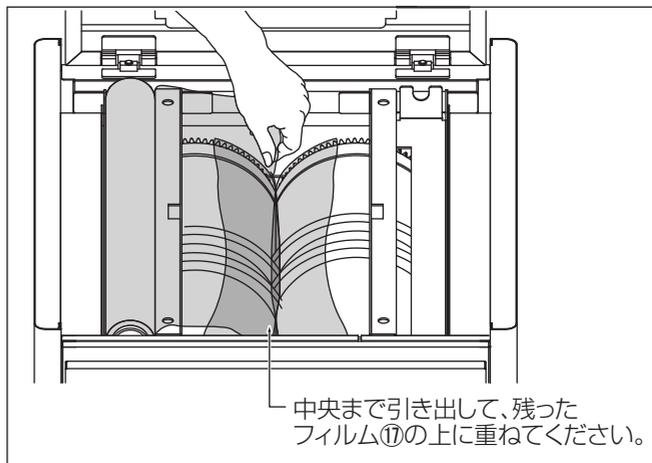


図9 フィルムのセット3

## 操作方法

- 1.扉⑨を開けて電源スイッチ①の上側を押してください。 P5 図3 参照
  - 2.扉⑨を閉めてください。
  - 3.スタートスイッチ㉕を押して、電源表示ランプ㉖の点灯を確認してください。 P5 図2 参照
  - 4.パックする投入物を投入口④のセンサー位置に合わせて投入してください。オートスタートセンサー⑥が投入物を検知して、自動的にパックを開始します。 P4 図1 参照
- ☆投入物は1個ずつ投入してください。
- ☆投入物は、投入口④の間口に対して余裕のあるサイズのものにしてください。

### ⚠ 注意

●鋭利なものを入れてはいけません。フィルムやスポンジロールが破れるおそれがあります。また、故障の原因になります。



### ⚠ 注意

●水分が多いものをパックする場合は、別途袋などに入れてから投入してください。



- 5.投入した投入物が無くなると、オドパックは一定時間フィルムを送った後に自動的に停止します。

# 4.操作方法

6.再度、投入物を投入するとオートスタートセンサー⑥が投入物を検知してパックを開始します。投入物が無くなると、自動的に停止します。

## パック済み投入物の処理方法

●ダストボックス⑫がパック済みの投入物で満杯になると、満杯表示ランプ⑮が点灯し、一定時間フィルムを送った後停止します。このとき、『ピーッ』というブザー音が3回鳴ってお知らせします。

以下の手順に従って、投入物を処理してください。

1.扉⑨を開けてフィルム⑰をカットしてください。

P7 図5 参照

### ⚠ 注意

●フィルムカッター⑱に直接触れてはいけません。けがの原因となるおそれがあります



2.ダストボックス⑫を引き出し、投入物を捨ててください。

### ⚠ 注意

●満杯表示ランプ⑮が点灯した場合は、投入物を必ず処理してください。無理に投入物を詰め込みますと、ダストボックス⑫が変形する原因となります。



3.ダストボックス⑫にチップ袋⑬をセットしてオドパックに入れてください。

P8『操作の前に』参照

4.扉⑨を閉めてください。

5.スタートスイッチ⑳を押して、電源表示ランプ㉑を点灯させてください。

## 全ランプが点滅している場合

●ギア⑭付近への異物侵入をセンサー検知した場合、電源表示ランプ㉑以外の全ランプが点滅します。

以下の手順に従って、異物を取り除いてください。

### ⚠ 注意

●必ず電源を切ってください。電源を切らずに作業を行うと、オドパックが作動した場合、けがをすることがあります。



# 4.操作方法

- 1.扉⑨を開けて、電源スイッチ①の下側を押して電源を切ってください。
- 2.天パネル③を開けてください。

## ⚠ 注意

- 天パネルを開ける際は、必ず90度以上開けて、手前に倒れてこないことを確認してください。手前に倒れてくると勢いよく落下して、けがの原因となるおそれがあります。



- 3.ギア⑭付近の異物を取り除いてください。 図10 参照

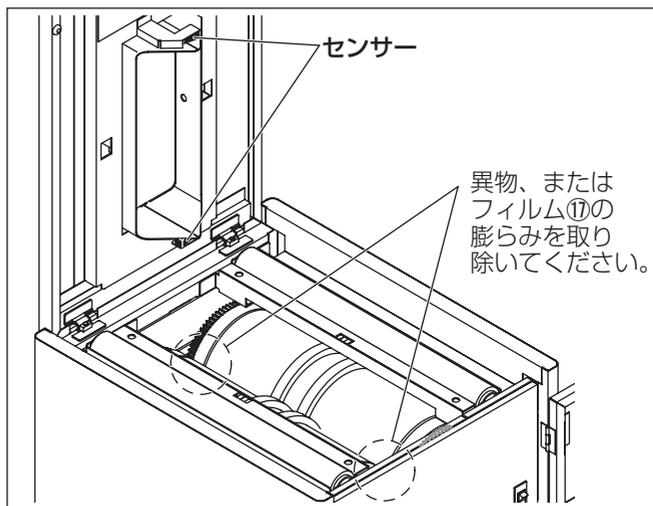


図10 ギア部センサー

- ☆ギア⑭の内側付近のフィルム⑰が膨らんでいると、センサーが誤検知する可能性があります。その場合は、フィルム⑰をスポンジロール⑮に押しこんで膨らみをなくしてください。 P9 図8 参照

- 4.天パネル③を閉めてください。

## ⚠ 注意

- 天パネルを閉める際は、必ず両手で持って閉めてください。閉まる前に手を離すと勢いよく落下して、けがの原因となるおそれがあります。



- 5.電源スイッチ①の上側を押して電源を入れて、扉⑨を閉めてください。

# 5.各機能の説明

## 省エネモードについて

### ●待機電力ゼロ機能

…何も操作をせずに一定時間(約10分)経過すると自動的に電源表示ランプ⑳が消灯します。(待機状態)

…再度スタートスイッチ㉕を押すと、電源表示ランプ⑳が点灯して、自動的に投入物をパック可能な状態に復帰します。

☆ストップスイッチ㉖を押すと、すぐに待機状態になります。

☆自動的に待機状態になるまでの時間は、変更することが出来ます。変更したい場合は、販売店までお問い合わせください。

## 自動運転停止機能について

●投入口④のオートスタートセンサー⑥が、約30秒間投入物を連続検知している状態で運転すると、電源表示ランプ⑳が消灯して自動的に運転を停止します。

…そのままの状態ですぐに待機状態になります。

…投入口④に投入物が残っていないか確認してください。残っている場合は、投入物を取り除いてください。

…スタートスイッチ㉕を押すと、電源表示ランプ⑳が点灯して、自動的に投入物をパック可能な状態に復帰します。

…再度、投入物を投入してください。パックを開始します。



●使用しない場合は、安全のため電源スイッチ①の下側を押して電源を切ってください。

P5 図3 参照

# 6.簡単なトラブル処置(故障かな?と思ったら)

このようなときには…	処 置	参照頁
<b>●オドパックが動かない</b>		
(電源表示ランプ⑳が点灯しない)		
・電源コード㉑は接続されていますか？	----- 電源コード㉑のプラグをコンセントに差し込んでください。-----	P8
・電源スイッチ㉒は入っていますか？	----- 電源スイッチ㉒の上側を押してください。---	P5 図3
・待機電力ゼロ機能により、電源が切れていませんか？	----- スタートスイッチ㉓を押してください。-----	P13
(扉開き表示ランプ㉔が点灯している)		
・扉㉕が開いていませんか？	----- ダストボックス㉖を奥まで入れて、扉㉕を閉めてください。-----	P8
・天パネル㉗が開いていませんか？	----- 天パネル㉗を閉めてください。-----	P4
(満杯表示ランプ㉘が点灯している)		
・ダストボックス㉖が満杯ではありませんか？	----- パック済み投入物の処理をしてください。---	P11
(フィルム切れ表示ランプ㉙が点灯している)		
・フィルム㉚を使い切っていませんか？	----- フィルム㉚を交換してください。-----	P10
(全ランプが点滅している)		
・ギア㉛を付近に異物が入り込んでいませんか？	----- 異物を取り除いてください。-----	P11
・フィルム㉚が膨らんでいませんか？	----- フィルムの膨らみを押さえてください。-----	P11
<b>●投入物を投入しても、パックを開始しない</b>		
・オートスタートセンサーを通過するように投入物を投入していますか？	----- オートスタートセンサー㉜を通過するように投入物を投入してください。-----	P4
<b>●パック済みの投入物を処理しても、すぐに満杯表示ランプ㉘が点灯する</b>		
・満杯センサーに汚れ等が付着していませんか？	----- 満杯センサーの掃除を行ってください。----	P15
<b>●パックが終了してもローラーが止まらない</b>		
・投入口㉝に投入物が残っていませんか？	----- 投入口㉝のセンサー窓に残っている投入物を取り除いてください。-----	P13

## ⚠ 注 意

●処置をしても状態が改善されない場合は、販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



# 7.機械のお手入れ

## オドパック本体のお手入れ

- オドパック本体に付いた汚れは、柔らかい布などで拭いてください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をふくませ、軽く絞った布で拭いてください。

- !! ●オドパック本体を揮発性の溶剤(シンナー、ベンジン等)では、拭かないでください。変色や変形するおそれがあります。

### 警告

- 機械内部、及びギア部に絶対に手を入れてはいけません。けがをする、または感電するおそれがあります。



## 満杯センサーの掃除

- 汚れ等が満杯センサーに付着すると、満杯センサーの感度が落ち、パック済みの投入物がダストボックス⑫からあふれる場合があります。定期的に掃除を行ってください。

### 掃除方法

- 1.電源スイッチ①の下側を押して電源を切り、電源コード⑦の電源プラグを抜いてください。
- 2.満杯センサーに付着した汚れ等を柔らかい布等で取り除いてください。

P16 図11 参照

- !! ●センサーを揮発性の溶剤(シンナー、ベンジン等)では、拭かないでください。故障するおそれがあります。

- !! ●センサーを固い物(金属製工具、ドライバー等)でこすったり叩いたりしないでください。傷が付いたり、誤作動を起こしたりするおそれがあります。

### 警告

- 必ず電源を切ってください。電源を切らずに作業を行うと、オドパックが作動した場合、けがをするおそれがあります。



### 注意

- フィルムカッター⑱に直接触れてはいけません。けがの原因となるおそれがあります。



# 7.機械のお手入れ

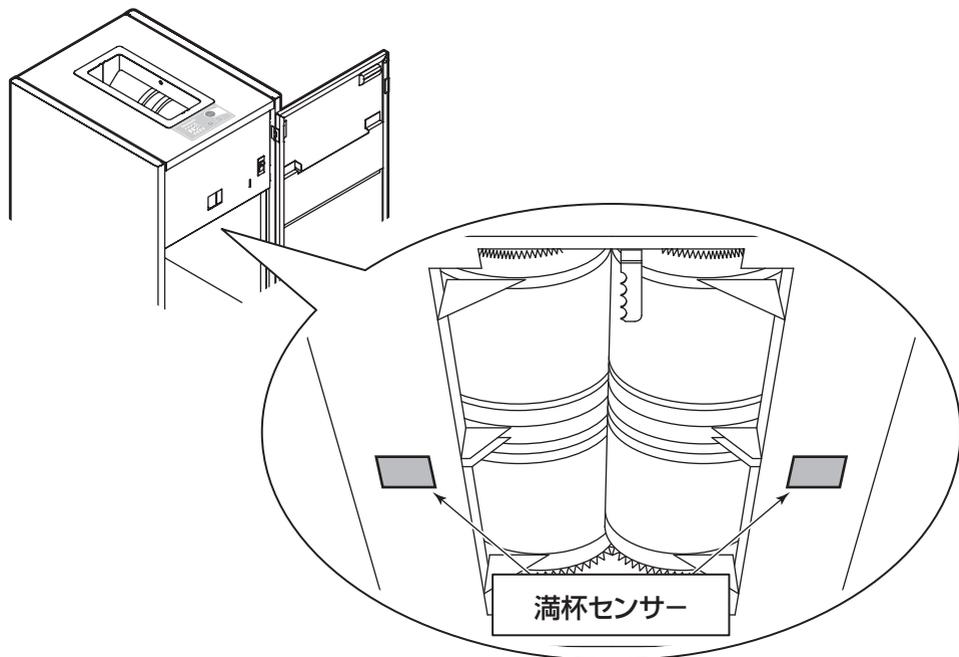


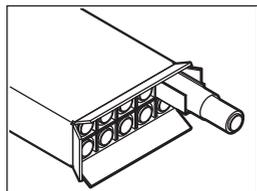
図11 満杯センサーの掃除

## 8. 消耗品、オプションについて

### 消耗品

消耗品は、お買い求めの販売店にて、下記の単位で販売しています。使用に際しては、当社の製品をお使いください。

他社の製品をご使用になっても、万一事故が生じても、責任を負いかねる場合があります。

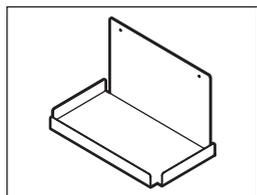


- パックフィルム DPK-PF  
(1箱10本入)

必需品

- チップ袋 ISO-300W  
t0.04×W900×H1000  
(1箱100枚入)

### オプション



- ポータブル電源用トレイ DPK-TR  
サイズ：309(w)×169.5(d)×183(h)mm  
最大搭載重量：約7kg

## 9. 主な仕様

形 式	DPK-1530
パ ッ ク 方 式	ローラー圧着式
定 格 消 費 電 力	30W(50Hz)/35W(60Hz)
投 入 幅	120×300mm
定 格 電 圧	100V、50/60Hz
定格時間(連続使用時間)	連続
外 形 寸 法	450(W)×540(取手を含むと588)(D)×900(H)mm
質 量	約38kg
ダストボックス容量	約58L
付 属 品	チップ袋

注：改良のため、予告なく仕様、外観を変更することがあります。

# 10.保証とアフターサービス

## ◆保証書(別添付)

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から必ずお受け取りください。また、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

## ◆保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理を依頼してください。無償にて修理させていただきます。詳しくは保証内容をご確認ください。

## ◆保証期間終了後の修理

お買い上げ販売店、または取扱説明書に記載している事業所までご連絡ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。

## ◆保守部品の保有期間について

当社はこの製品の保守部品を製造打ち切り後、7年保有しています。

## ◆アフターサービスについてご不明な点は

お買い上げ販売店、または取扱説明書に記載している事業所までお問い合わせください。

## ◆本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。

## お客様メモ

後日のために記入しておいてください。消耗品の注文  
あるいは、サービスを依頼される時、お役に立ちます。

販売店名

電話 (        —        —        )

サービス実施店名

電話 (        —        —        )

ご購入年月日

## ナカバヤシ株式会社

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2-5-1 TEL 03-3558-1228

本社 財メス 〒599-8116 大阪府堺市東区野尻町2-21-3 TEL 072-286-8090

名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2-2-6 TEL 052-661-6151

福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5-7-11 TEL 092-641-3661

札幌営業所 TEL 011-531-1006

横浜営業所 TEL 045-279-7884

仙台営業所 TEL 022-284-3045

広島営業所 TEL 082-536-0250

高松出張所 TEL 087-831-5825



ナカバヤシホームページは下記のアドレスでご覧いただけます。

<https://www.nakabayashi.co.jp/eco>